

市仏連会報

発行所
 横浜市中区大平町96
 光明山西有寺内
 横浜市仏教連合会
 電話 (045) 661-0166

六十周年大会を終えて

横浜市仏教連合会
 会長 玄野孝善



平成二十二年六月五日、大変に良い天候に恵まれ、午後一時ころには善男善女のみなさんで、会場の鶴見大学付属中等学校はにぎ

わい始めました。開会は午後二時で、一四〇〇名ほどの入場者で満席となり、緞帳が上げられ、第一部式典の部が始まりました。開会の言葉を、奉讃会副会長、和田大雅師が述べられ、仏教連合会長玄野孝善、奉讃会長美濃口久義氏が挨拶し、続いて功労者（歴代会長・奉讃会役員）に感謝状の贈呈、来賓祝辞は県仏会長、名誉会長（大本山総持寺）のお二方からいただき、身に余るお言葉を賜りました。続いて祝電披露、次の散華の舞は学校当局のご協力で女子生徒により「法の御山」の曲にのり、ステージいっぱい散華をしながら舞を踊っていただいたのは、絵になる美しさで会場を盛り上げて下さいました。

次に仏教会、奉讃会の発展と来訪参加者の健康増進、諸縁吉祥を祈願する法要と仏教会・奉讃会の物故者の供養を、会長と副会長山本信行師、会計橋下賢明師の三導師、それに曹洞宗青年同志会の僧侶が多数参列いただき、厳かに営まれました。

その後、ご詠歌が奉詠され、真言宗金剛流、浄土宗吉水流、曹洞宗梅花流と総勢一二〇名のご協力を賜り荘厳でした。休憩をはさんで記念講演「思うように行かないのが人生ーだからorそれでもー」と題して、元内閣総理大臣、宝樹院名誉総代、小泉純一郎氏に約一時間講演をいただき、皆さん感銘されました。その



周年大会結果報告について

実行委員会執行部
 周年大会には大変お世話になりました。当日は、中外日報をはじめ地元ケーブルテレビ局に至るまで、多くのメディアでも取り上げていただきました。中外日報の記事の一部です。

後、デザートとして、昔懐かしい童謡唱歌をソプラノ歌手佐伯葉子さんに歌っていただき、皆さん一緒に口ずさんでいただきました。そして、閉会のご挨拶を奉讃会副会長の星野英秀師に結んでいただきました。

この大会は、皆様方の多大なるご協力とご支援をいただき、事故もなく無事に円成できましたことを、役員一同厚く御礼申し上げます。

一涅槃会担当区予定ー

- 平成23年第36回 西区仏教会
- 平成24年第37回 磯子区仏教会
- 平成25年第38回 神奈川区仏教会
- 平成26年第39回 緑・青葉区仏教会
- 平成27年第40回 保土・旭区仏教会

次期役員選考委員

- 緑・青葉区仏教会会長
- 泉区仏教会長
- 保土ヶ谷・旭区仏教会長
- 神奈川区仏教会長



再結成60周年を祝う
 小泉元首相が講演
 歌尊奉讃会の創立30

第三十七回総会開催

横浜市仏教連合会の第三十七回総会は平成二十二年五月七日、西有寺書院で行われた。総会に先立ち、午後一時から理事会を開き、総会に提出する議案の内容について協議した。

午後二時からは総会、山本信行副会長が開会の言葉を述べた。玄野孝善会長が挨拶を述べ、議事は栄区仏会長の星野英秀師を議長に選出して進められた。

①平成二十一年事業報告。市川智彬副会長より報告された。定期総会（五月十一日）、三役会（五月二十八日・六月八日）、常務理事会（五月十一日・十二月十四日）、理事会（五月十一日・十二月十四日）等、会執行に関する会議を実施した。涅槃会の開催・平成二十二年二月九日・鶴見区天王院にて土屋慈恭師の講演もあった。市仏連会報、第六十九号、七十号を発行した。仏跡参拝旅行の実施、六月二十日、雨引観音。秋は愛知県尼僧道場正法寺・三ヶ根山参拝。

②時局対策報告は佐藤功岳委員長よりされた。

③平成二十一年度会計報告、秋山智謙会計から決算書が提出され、時局対策委よりも収支決算書が提出された。

④会計監査報告、福田俊光・佐伯隆義監査より、五月一日に監査会を実施いたし、適正であったと報告された。

⑤以上、質疑応答後、原案通りに承認された。

⑥平成二十二年事業計画案が市川副会長より提案された。

⑦平成二十二年年度予算、秋山会計より、事業計画に関連して提案された。佐藤委員長より時局委の予定と予算が提出された。

⑧以上、質疑応答後、原案通りに承認された。

⑨仏跡参拝旅行の件、埼玉東光寺参拝について、

⑩周年行事開催の件について、玄野大会実行委員長より、志納金中間報告があり、成功の為に今、一層の数々の協力、支援を求めると申された。

⑪市釈尊奉讃会の件、和田大雅師奉讃会副会長より立て直し案が提

出され、説明があった。

⑫その他、戸塚区のドリームランド跡地の市営霊園について、市川師発言。宗教色排除の傾向があり、そのマイナス面を止めるため、市仏連名で問い合わせるべきか否か。市はお金が入ればよいという立場。以上、質疑応答後、了承され、市川智彬副会長が開会の言葉を述べ、懇談会に移座した。

総会議長担当区

平成23年第38回 鶴見区・神奈川区

平成24年第39回 西区・磯子区

平成25年第40回 港北区・金沢区

平成26年第41回 中区・保土土区



平成21年度時局対策委員会事業および収支報告書

事 業

委員会

| | | | | | | |
|---|-----|-------|-----|---|--------|------|
| ① | 第1回 | （通68） | 委員 | 会 | 4月15日 | 大園寺 |
| ② | 第2回 | （通69） | 委員 | 会 | 5月21日 | 大園寺 |
| ③ | 第3回 | （通70） | 委員 | 会 | 6月4日 | 大園寺 |
| ④ | 第4回 | （通71） | 委員 | 会 | 6月28日 | 大園寺 |
| ⑤ | 第5回 | （通72） | 委員 | 会 | 7月4日 | 大園寺 |
| ⑥ | 第1回 | 正副 | 委員 | 長 | 9月10日 | 産経新聞 |
| | 電話 | 取材 | NHK | | 10月28日 | 大園寺 |
| ⑦ | 第6回 | （通73） | 委員 | 会 | 11月9日 | 大園寺 |
| ⑧ | 第7回 | （通74） | 委員 | 会 | 1月19日 | 大園寺 |
| ⑨ | 第8回 | （通75） | 委員 | 会 | 2月19日 | 大園寺 |
| ⑩ | 第9回 | （通76） | 委員 | 会 | 3月31日 | 大園寺 |

- * FAX・PCメール網設立
- * 時局レター 第1号発信
- * ホームページ開設

収 支 決 算 書

| | | | | |
|------------|-----------|----------|---------|--|
| 収入 | | | | |
| 前年度繰越金 | 1,164,848 | (協賛金繰越分) | 431,654 | |
| 委員会費 | 200,000 | | | |
| 利子 | | 224 | | |
| 合計 | 1,365,072 | | | |
| 支出 | | | | |
| 電話代 | 31,361 | | | |
| サーバー代 | 55,545 | | | |
| ホームページ開設料 | 252,000 | | | |
| メアド設定費・郵税等 | 99,037 | | | |
| 会場費10回 | 50,000 | | | |
| 計 | 487,943 | | | |
| 次年度繰越金 | ¥877,129 | 円 | | |

以上ご報告いたします

平成22年3月31日

委員長 佐藤 功岳

布施の定額化に関するアンケート実施

時局対策委員会では、市仏連会員に対してアンケートを実施した。これは、近年増加する「布施の定額化」は本来の布施の精神の崩壊につながりかねない危険からのものである。

イオンは、当初は一般戒名の布施額を25万円程として公表していたが、全日仏からの意見をふまえ、現在は金額を明示せず、「お布施は本来『喜捨』であり標準化や統一すべきではありません。しかし、『目安がわからなくて困っています』という方のためにご紹介する

寺院で取りまとめられた目安をコールセンターにてお知らせします」としている。

僧侶が立ち上げたと言われる「おぼうさんどっこむ」では、俗名の葬儀のみで13万、信士戒名付で16万、通夜・葬儀・信士戒名で21万円をネットにて公開している。また、「お坊さんJ.P」では、俗名通夜葬儀で10万、戒名付で12万、葬儀のみ俗名6万、葬儀のみ戒名8万、炬前俗名3万、戒名付で5万、授与戒名のみ3万、式場法事5万、墓前供養3万…と、交通費に至るまですべて料金化している。…続きは次号で。

横浜市仏教連合会 平成22年度歳入歳出予算書 (案)

歳入金 2,129,285円
歳出金 2,129,285円
総括表 差引額 0円
(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 差引増減. Rows include 歳入, 歳出, and 繰越金.

郵便振替 金 38,490円
郵便貯金普通 金 205,186円
現金 金 136,609円
繰り越し金額 金 380,285円

横浜市仏教連合会 平成21年度収支決算報告

収入金 2,160,449円
支出金 1,780,164円
総括表 差引額 380,285円
(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減. Rows include 歳入, 歳出, and 繰越金.

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 差引増減. Rows include 歳出, 繰越金, and 繰越金.

平成22年5月7日
上記のとおり歳入歳出予算案を提出致します。

横浜市仏教連合会 会長 玄野孝善
会計 橋下賢明
会計 秋山智謙

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差引増減. Rows include 歳出, 繰越金, and 繰越金.

総収入2,160,449-総支出1,780,164=繰越金380,285
次年度繰越金 380,285円

特別預金 ゆうちょ銀行 定期定期 金4,680,763円

平成22年5月1日

上記のとおり収支決算書を提出致します。

横浜市仏教連合会 会長 玄野孝善
会計 橋下賢明
会計 秋山智謙

監査の結果相違ないことを認めます。

監査 福田俊光
監査 佐伯隆義

秋の仏跡参拝旅行

〜平城遷都一三〇〇年記念の旅〜



平成二十二年十一月二十四日(水)から二十六日まで、平成遷都一三〇〇年に因み、市仏連、釈尊奉讃会の秋の仏跡参拝旅行が実施された。三十九名の参加者が二泊三日の旅を共にした。8時6分発ののぞみ号に乗りし一路京都へ。初参加の男性が、案内書をしげしげと見て、全部、お寺ばかりだねとつぶやく。問われた和尚は、普通の拝観では得がたい仏教会ならではの拝観接待があるからねと、とまどい気味に返答していた。京都駅に迎車の奈良観光バスの車中の人となる。当会では、おなじみの平川バスガイドさんが歓迎の自己紹介挨拶をされ、市仏連副会長の山本信行師も挨拶をされた。11時35分から奈良市今小路町の天平俱樂部で日本料理の昼食を味わった。

因みに三日間共、晴天で温暖であった。午後12時30分〜1時30分まで奈良市中院町の真言宗の元興寺を参拝した。萩の黄葉が目がいっぱい。奈良時代に創建された元興寺僧坊の遺構の極楽堂と禅室(両堂室は国宝)を拝観。一三〇〇年前の古材に触れ、行基葺きの丸瓦を屋根を見、本尊智光曼荼羅図、阿弥陀如来像、五重小塔(国宝)、聖徳太子像、地藏菩薩像、弘法大師像を宝物資料庫で拝観し、豊富な中世庶民信仰に支えられて今日に至る元興寺に感銘を受けた。次に1時50分〜3時40分まで、奈良市西ノ京町の法相宗大本山薬師寺を参拝。小林澤應師が親しくご案内下さった。金堂の本尊、薬師如来三尊のご宝前に立礼で玄野会長を導師として般若心経を誦唱和した。世界一の仏像で一三〇〇年前の白鳳時代(国宝)製作なのに、あたかも今、造られたかのような美しいお姿を真下から仰ぎ観ての読経に感涙がこぼれた。奈良時代のお薬師さまは手に葉壺を持たないのが特長。高田好胤元管主が修学旅行生の説法僧に撤し、参拝者に写経勧進し、伽藍と心の復興を課されたことに畏敬の念が湧いた。七三〇年造立の東塔を背景に記念集合写真撮影、玄奘三蔵院伽藍・平山郁夫西画八魂の大唐西域壁画は庄巻物、合掌礼拝で観賞した。

西日に映える三法の塔を車景にみながら斑鳩の里を通り、信貴山の宿坊、玉蔵院に5時頃に到着した。野澤住職の歓迎のお話しと祈願申し込みの後、各自入室、休憩。およそ千四百年の昔、聖徳太子がこの山で毘沙門天王を初めて拝まれ、大変に御利益をいただいたのが寅の年、寅の月、寅の日であった。以来、信貴山では、寅が三つ重なる善い事がある、毘沙門様のご利益がいただけることされ、福寅と呼ばれてきた。平成二十二年十一月二十四日が正しく「三寅の福」に当り、縁起の良い旅となるうと言われた。美濃口久義氏市釈尊奉讃会会長と同副会長の星野英秀師の挨拶を期に夕食が始まり、工夫を凝らした、味の精進料理を頂戴した。二十五日(木)早朝5時30分、浴油堂のお護摩秘宝に参列し、6時50分、奈良県生駒郡平群町の真言宗信貴山朝護庵の本堂舞台で御来光を待ち、朝日に照らされて山内の楓やイチヨウが



一段と紅葉、黄葉の色彩を際立たせ、冷気の中、美しかった。本堂内の当山独特の大般若祈願転読法会に参拝し、真暗闇の戒壇巡りもし、宿坊に戻り朝食を摂り、玉蔵院を出発した。奈良市西大寺芝町の西大寺に9時30分〜10時40分まで参拝。南都七大寺のひとつで称徳天皇により七六五年に建立され、鎌倉時代に敬尊によって復興され、今は真言律宗の総本山である。創建当初のものは四天王像の邪気と東塔の基壇のみ。本堂は総松の木全部板張り、厳しさと優しさとの不思議な調和があると物の本に書いてあるのを実感した。本尊は京都・嵯峨の清涼寺の釈迦如来像を模刻させたもの。心経一巻を唱和し、玄野市仏連会長が挨拶された。本堂前で記念写真を撮る。光明殿で大茶盛式を体験。右、左、大茶盛(おおちやもり)脇で支えてにこやかに。法華尼寺を11時50分まで参拝。光明皇后をモデルに刻んだといわれる木造十一面観音立像(国宝)は秘仏。白檀像で蓮の葉とつばみを交互にかたどった光背や遊び足に手が長いのが特徴である。ふじはらのおほききさを うつしみに

あひ みる ごとく あかき きちびる (会津八一)。光明皇后が唐風呂で千人の垢をながした。千人目の老人の膿を吸ったら、光明を放ち阿閼仏となった。ししむらは 骨もあらはに とろろぎて流るる 膿を 吸ひに けらしも (会津八一)。仏教への深い信仰心による社会福祉事業の先駆者の皇后に想いを馳せた。昼食は飛天散華という京風中華店だった。午後は興福寺の国宝館を拝観。平城遷都と同時に創建された千三百年の古寺。その受難と復興の歴史をくぐり抜けて伝来した珠玉の仏像群(淡交社刊・古寺巡礼・奈良5・興福寺より)。阿修羅像は殊に有名。天平の優美と鎌倉の写実。仏教彫刻の日本代表が勢ぞろい(古寺をゆく・小学館ウィークリーブック)。明治の廃仏毀釈では崩壊寸前に追い込まれた。五重塔が二五〇円で売りに出され、てつべんの九輪などを金物として回収するために放火されかけたそう。西国札所の南円堂の観音さまに今日(こんにち)のこの寺の安穩ありがたしと手を合せ拝んだ。次に華厳宗の総本山東大寺を参拝。奈良の大仏さまは、やっぱり巨大だ。世界各国の言葉が行き交い修学旅行生の集団など入出が大層多く、喧騒だった。華厳経よりも理趣経のほうが日常に誦まれるとい





うことだった。鹿にセンペイをやつていたら、ズボンの膝あたりを咬まれた。ある人は万博の時に若草山で尻すべりをして遊んだなどと思いを話していた。奈良公園は広い、歩き疲れた。4時35分に滋賀県大津市雄琴の琵琶湖畔の花街道に到着。夕食宴会は玄野孝善会長が挨拶し、同行の市釈尊奉讃会副会長の和田大雅師の真言密教の各山会で教化賞を受賞された事を披露紹介。和田師が明日参拝する仁和寺について語り、乾杯の音頭をとられた。懇親を深める一夜となった。

11月26日(金) 8時40分にホテルを出発し9時50分に真言宗御室派総本山仁和寺に到着し約二時間滞在した。御室会館でお茶をいただき、瀬川泰秀宗務総長より、お話を賜った。仁和寺は59代の宇多天皇が創建され一・二二年の歴史を経て、今日、末寺八〇〇ヶ寺を持つ。宇多天皇は退位後、自ら出家され、真言密教の修行に励ま



れ、皇族住職の最初となる。以後明治維新まで門跡寺院・御室御所と呼ばれ、十六の菊花紋が許されている。幕末、三十世純仁宮様が選俗して、征討大將軍となり仁和寺より凱旋された。宮さん、宮さん、お馬に乗るのは誰じゃいな、とトコトノ節に歌われた。中川課長の寺内案内で二王門、中門、金堂へ一直線に伸びる、広々とした見事なOMU ROAD、浄心の参道を歩いた。金堂に上がり、藤橋師経頭にあわせて、心経一巻を誦した。本尊は国宝阿彌陀三尊、向って右が勢至菩薩、左が観音菩薩。一般の浄土系の祠り方とは逆である。弘法大師は言葉の宗教、真言を大切にされた。頭の中で言葉を使つて考えている。人は言葉の生き物、それを大事にすること、人はつくられる。日本語、フランス語等、造り物である。真実の言葉は五感で聞くことばで全てが言葉である。森羅万象(真言)を体で聴いているというのが宗祖の発想である。自然の摂理、宇宙

仏の声を常に聴いている。一つ一つのものに全宇宙が込められている。ミクロ・原子の世界と同一である。浄心の道を歩いて仏の声(真言)を響く、リフレッシュして、外界へお帰りください。ありがたいう法話を賜り、記念写真を撮り、御室桜、五重塔、御殿を拝観し、駐車場までお見送り下さった。和田大雅師の御中介の労に感謝申し上げます。錦鶴で湯豆腐鍋料理の昼食をし、12時50分〜1時45分まで龍安寺を参拝。紅葉は最盛期で美しさも最高であった。臨濟宗妙心寺派の禅寺で方丈前庭の枯山水庭は白砂に15の石組を配し、14個しか見えない、未完の虎の子渡しの庭を眺めた。佐助椿も咲き、「吾唯足知」(われただたるをしる)と刻んだ蹲(つくばい)も見た。御朱印帳に一心に墨書される女性師の見事な筆走らせに見とれた。鏡容池をぐるっと一回り、景観に澹然となる。2時45分より3時25分まで、金閣IIお釈迦様のお骨をまつた舍利殿・鹿苑寺を参拝。秋のモミジの紅葉と鏡湖池に金閣が映える光景は美しく、極楽浄土をこの世に現したと言われる、そのとおりと満喫した。京都駅で40分ほど土産品の買い物時間があつた。京都駅16時29分のひかり号に乗車、BS観光のサービスの夕食弁当に顔を利ませ、三日間の思い出を反芻しながら、新横浜駅に到着し19時に解散した。

参加寺院名、長昌寺、東泉寺、長王寺、見光寺、般若院、龍華寺、西福寺。三十九名



横浜市釈尊奉讃会・仏教連合会 於薬師寺 平成22年11月24日

第二十六回春の仏跡参拝旅行

く東光寺・とげぬき地蔵く

本年の春の仏跡参拝旅行は、大宮にある東光寺様を訪ね、法話をお聞きしました。東光寺は、曹洞宗の関東地域における布教の拠点となる教化センターが置かれているところでもあり、様々な活動が展開されています。



午後は、鉄道博物館見学を経て、東京に戻りとげぬき地蔵尊を参拝いたしました。

参加寺院 長昌寺、本覚寺、東泉寺、東照寺、西福寺、貞昌院、興禅寺、松蔭寺、万徳寺、妙光寺、長王寺、計五十四名、バス二台

詳細につきまして、本覚寺より参加の笠原冽氏から寄稿いただきましたので掲載いたします。

寄稿文

六月二十一日、横浜市仏教連合会の日帰りバス旅行は、大宮方面の寺院や観光名所を巡る旅でした。まず、八六〇余年の歴史を有する東光寺を訪れました。住職自らユニークに寺内を案内して頂きました。境内にある建物はどう

も新しく欄間から置いてある調度の品の数々は厳選された目を見張る貴重な物ばかり。高台のお茶碗でお茶とお菓子を頂き、見る物、いただいた物全てに住職の心遣いがあり、心地良い気持ちで寺を後にしました。昼食はホテルの最上階で市内を一望しながら皆で美味しい食事をいただきました。

昼食後は鉄道博物館へ。広く大きな建物の中に鉄道の歴史がいろいろ詰まっています。

私としては、故郷の函館本線の汽車と再会することができ、木の背もたれの座席にもくもくと煙を吐いて走る様を想像し、煤の匂いを感じました。ジジ・ババの原宿と

言われる“とげぬき地蔵尊”へ。平日のせいか人通りも少なく感じました。とげぬき地蔵尊が祀つてある高岩寺では、たくさんの煙を身体中にあて、無病息災を願いとげぬき地蔵をゴソゴソと手拭いでさすり、更なる身体健全を願いました。

企画をいただいた仏教会の方々への心配りには大変感謝致します。次回もまた参加したく思いますので、楽しい企画を期待しています。(本覚寺・笠原冽)



第二十七回参拝予定

次回、春の仏跡参拝旅行は、日時未定ですが、茨城県方面の名刹と笠間稻荷参拝を予定しています。

横浜市基地条例

改正に向けて

横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課では、墓地経営等に関する条例の改正を目指して、寺院住職をはじめ広く市民からの意見を求めている。

十二月十四日を目途に、各寺院宛にアンケートが実施された。担当者の話によれば、なるべく全寺院からの意見をいただきたいとのこと、期限を過ぎた後も引き続き

去る七日、今年度のノーベル化学賞の受賞者が発表された。その中の二人は日本人であった。この頃社会が沈み加減であったので、この快挙に日本中が沸き返った。お二人は、鈴木章北大名誉教授、根岸英一米国パデュー大学特別教授で、米留学の同窓であり、化学の同じ分野を研究した。そして、三十数年前、世界的発見をされたのでした。



生かせいのち

栄区 般若院 星野英秀

お二人の研究成果は見事に実を結び、今日各分野で応用され発展していると言う。また受賞されたときの感想も報道に詳しいが、お二人には共通した考え方が伺えました。さすがは日本魂と言うか、

- ① 名義貸し防止対策として、公認会計士等による財務状況審査会の設置案について
- ② 周辺住民との合意形成のため、最長一年間の当事者間の話し合いを市が関与する案について
- ③ 環境や利便性のために、緑地率の引き上げと、一・八m幅のバリアフリー通路の整備化について
- ④ 墓地開発計画の住民説明と関係法令を適合させるために、都市計画法や建築基準法などの審査を義務化する案

大変見事に清らかで美しく、素晴らしいと感動しました。鈴木博士の娘・佐藤恵理子(50)さんの話を新聞より引用する。「大学生の頃、冗談で「特許をとればお金持ちになれるんじゃない?」と尋ねると、「特許をとらずに、沢山の人の使ってもらった方がいいんだ!」と返ってきました。娘から見ても、自分の気持ちに素直で、無邪気な魂のきれいな人。こんな賞までもらえて、本当に幸せな人生。」

そして、根岸博士もコメントで「米国の同僚から、特許の件を持ち出されたが、私はその気持ちは無い。誰でも使えて、世の中の役



【生かせいのち】 萩原 徹 著

に立つことが望ましい。」と、気持ちを表している。

両博士の発見は世界的な業績であるが、あくまで純粋に科学的探求の成果であり物質界の問題である。しかし、発見した成果を自由平等に公開された点は、精神界・心のありようの問題である。世紀の発見成果を独占せずに、惜しみなく与えて執着する事無く、自らは名譽だけに甘んじて、社会の発展に寄与できた事を静かに喜ばれていたのである。一昔前の学者のような「古武士」の魂を見た思いである。

最近の社会情勢は、内外共に我欲の突っ張り合いであり、今回受賞された両博士の純粹無私のお気持ちは、仏教の「抜苦与樂の法」



区仏だより

今年には予想外の猛暑に見舞われ、茹だるような日々が続きました。当区仏教婦人会は毎年、孟蘭盆

鶴見区

今年には予想外の猛暑に見舞われ、茹だるような日々が続きました。当区仏教婦人会は毎年、孟蘭盆

会灯籠会を、仏教会後援として、七月下旬、佃公園鶴見川河畔で開催しています。ところが、この猛暑と晴天が続く中、二十九日だけ暴風雨となり、止む無く中止となりました。後日、各寺院にて灯籠供養会として、各家先祖各霊の廻向を行いました。自然の成り行きに従うしかありません。残念。

また、十二月初旬、年末調整税務講習会を開催し、税務署の係官が、税務の改正点及び給与の源泉徴収等について説明してくれました。各寺院における日常の税務処理が円滑に行われるよう、毎年この研修を実施しています。いつも多くの熱心な質問がなされ、皆様が税務処理に専心していること伺えます。

港北区

初夏の恒例行事となった港北仏教会主催研修会がさる六月十八日に開催され、本年は、慶応義塾大学非常勤講師正木晃様をお招きして「現代の葬儀を考える」をテーマにご講義を戴きました。

昨今の宗教離れや、核家族化による従来の家制度の崩壊などにより寺院の檀家制度は今、岐路に立たされ、また、「直葬」「ワンデイレイブ」といった葬儀から宗教を排除し極端なまでに簡略化することを是とする様な言葉が一般化してしまつたことから、今までの我が国の宗教感や葬儀の形式が、ここ数年で大きく変化していることは如実に表れており、その要因には社会の変化もさることながら我々

宗教者が時代の変化に目をつむり、耳をふさいできた事も大きく起因しているのでは？という耳の痛いご意見を賜りながらも、そういった中、仏教の教義を宗教者が自ら十分に理解し、真摯な気持ちで信者に伝えていくことが大切であり、仏教寺院の存在意義の根本に立ち戻り、社会の中、都市空間の中における寺院のあるべき姿に立ちもどり、精神的に疲れた現代人のオアシスとなることよつて再生した寺院の具体例などをふまえながら、人が自然に集まる寺院を目指すことの重要性や、その先に開ける展望についてご講義賜り、次世代の寺院運営に向けての一筋の光明を見出す事が出来ました。

保土ヶ谷・旭区

平成二十一年度保土ヶ谷旭区仏教会、仏教奉讃会の事業報告

【平成二十一年】

4月7日 花まつり(於 東光寺)

5月14日 区仏総会

5月27日 春の仏蹟参拝 (松崎東福寺参拝)

8月30日 役員会

11月9日 秋の仏蹟参拝

12月3日 成道会(於 三仏寺)

12月15日 歳末助け合い托鉢 (於 保土ヶ谷駅・天王町・二俣川駅)

【平成二十二年】

1月24日 新年会

2月14日 役員会

3月 仏教会・奉讃会会費の集金及び「花祭り」用ポスター・風船の配布

その他、機関紙の発行・寺務研究会の開催・古寺参拝・募金活動など会員三十ヶ寺の仕職と寺族が相互扶助し、諸活動の運営に携わっています。

四月に開催した花祭りでは、地元の鼓笛隊を先頭に、お稚児さんや詠歌講を含め、総勢六百名が満開の桜を背景に行列しました。同じく四月に古寺参拝を行い、坂本龍馬の妻「お龍」さんの菩提寺である信楽寺(浄土宗)に参拝。続いて、龍口寺(日蓮宗)を訪ね、伽藍の拝観と祈願を受けました。

九月には、金沢区公会堂を会場に、鎌倉流・金剛流の詠歌の奉詠、慶応大学講師正木晃先生の講演と、講師神田すみれ女士の講演「白隠禅師」を拝聴しました。

会員寺院の檀家・信徒のみならず、地域住民の仏性を育むべく、諸行事に尽力しています。

金沢区

金沢区仏教会(友照照純会長)では、会員寺院の檀家・信徒からなる金沢区積尊奉讃会のご協力のもと、花祭り・金沢仏教文化講演会・交通安全祈願会を開催しています。

以上

その他区役員による市仏事業への参加。

諸活動を通じ奉讃会会員の高齢化に伴い、各活動への参加者が減少しており、新規会員の拡充が課題と受け止めています。他、寺院就職対象の研修会を企画中。

● 栄 区

『訃報』(時の流れの中で)

去る九月三十日、大誓寺ご住職 塩沢栄一上人遷化(世寿八十三才)、十月九日本葬儀、一山挙げて盛儀に行われた。



思い起こすと、昭和六十二年、市政により戸塚区から栄区栄区が分離した。それに伴ってそれぞれ

の区に新仏教会が誕生した。 栄区は総会を開いて協議し、昭和六十三年九月、新会長に塩沢上人が推挙されて十四ヶ寺の栄区仏教会が発足した。

活動においては、「泉慰霊堂奉仕」や「市仏協賛・涅槃会」等、塩沢会長を柱として小さいなりに良くまとまっていた。特に泉慰霊堂奉仕では、会長の法話が参列者の心に染み渡っていた事を深く記憶している。

平成七年一月十七日、阪神淡路大震災発生!

日本中が救援に立ち上がった時、翌二月の理事会で、塩沢会長の強い提案により、当区仏は毎月十七日に「托鉢」をし、救援を行うことになった。震災三回忌まで会長を先頭にして続けた。その後も震災当日の托鉢は継続し、さらに歳

末助け合い托鉢を実施するようになった。

塩沢上人は四期12年間に、初代会長を勤められた。そのご功績は現在の区仏活動の礎石となっている事にあると言えよう。今、ご遷化に際し、改めて振り返り、『時の流れ』を強く感ずるものである。塩沢上人の御冥福をお祈り申し上げ訃報文とする。

● 瀬 谷 区

新年会を一月二十八日に横浜駅西口方面の田中家で一席持った。坂本竜馬の妻のおりようが明治時代に仲居として働いていたことでも有名な料理屋さんである。周年行事の件が重要話題で、協力しようというところで八ヶ寺が一致した。

区仏総会が寶藏寺様で四月二十二日に持たれ、新年度会費納入と周年行事、特に六月七日の泉慰霊堂奉仕の泉の打ち合せを行った。又、六月二十一日の市仏連春の参拝旅行参加者募集の件も各寺に御願した。

五月三十日(日) 徳善寺様(尾崎正善住職)で晋山結制が朝八時半より、厳修され、区内各寺もお祝いに随喜臨席した。盛大な法会に感動した。

六月五日(土)、鶴見大学附属中、高等学校で開催された、市仏連、積尊奉讃会の周年大会に区仏寺院住職、檀信徒が参加した。

六月七日(月) 上大岡泉戦没者慰霊堂に当番として、五ヶ寺が出陣し、午後一時よりご回向法要を謹んで営んだ。

九月七日(火) 臨時会議が宗川寺会場で招集開催された。区仏会長

の三田裕道師が体調不良で会長職を辞したいの申し出について協議した。結果、その辞意を了承した。後任の役職者名は次の通りである。会長、備前恭忠・真言宗豊山派西福寺。副会長、秋山智謙・日蓮宗・妙光寺。同職、尾崎正善・曹洞宗・徳善寺。庶務会計、志岐正博・高野山真言宗・寶藏寺。

十一月九日(火)、最勝寺様で会合が持たれ、全員出席した。歳末助け合い募金に協力の為、募金を持ち寄った。八福神巡りに相鉄会社が乗降客をふやすために便乗したいと申し出があり、企画等を説明して貰い、了承した。積尊奉讃会、市仏連の秋の奈良、京都古刹参拝の件、納金、新年会の件などを話し合った。

十一月十一日に瀬谷区社会福祉協議会へ、募金を届け、寄付した。

事務日誌

- 22.3.5 市電寶秀寺(神奈川区)
- 22.3.5 泉慰霊堂出仕案内
- 22.3.14 周年行事役員会(勸行寺)
- 22.3.30 祝電総持寺(鶴見区)
- 22.3.30 市電大林寺(緑区)
- 22.4.6 周年行事役員会(勸行寺)
- 22.4.16 周年行事部長会(勸行寺)
- 22.4.25 周年行事寄付再依頼発送(勸行寺)
- 22.4.26 総会案内発送
- 22.4.28 周年行事役員会全体会議(本覚寺)
- 22.4.29 祝電勸行寺(西区)
- 22.5.7 第37回総会・西有寺
- 22.5.27 周年行事全体会議
- 22.6.5 周年行事大会開催 一四〇〇名来場
- 22.6.14 周年行事慰労会案内状発送
- 22.6.24 周年行事慰労会
- 22.8.26 市電源東院(都筑区)
- 22.9.8 市電陽光院(神奈川区)
- 22.9.10 泉慰霊堂出仕案内
- 22.12.16 理事会・忘年会

― 泉慰霊堂出仕当番表 ―

- 平成23年4月 南・港南区仏
- 平成23年6月 神奈川区仏
- 平成23年10月 西区仏
- 平成24年11月 磯子区仏
- 平成24年4月 港北区仏
- 平成24年6月 金沢区仏
- 平成24年10月 中区仏
- 平成24年11月 保土ヶ谷・旭区仏
- 平成25年4月 鶴見区仏
- 平成25年6月 戸塚区仏
- 平成25年10月 栄区仏

編集後記

● 周年行事が無魔円成した。天気が良く、一四〇〇名近くの参加者があり、会場のホールの出店も賑わっていた。小泉元総理の人氣も未だ衰えずの感を強くした。福祉募金箱にも善意がいっぱい納められた。この模様は近くは、地域ケーブルテレビのニュースで報道され、広くは、仏教タイムスの一面や中外日報で全国区の寺院関係者の耳目に触れた。お世話になったはずの会場の鶴見中・高校の先生方が良い宣伝になったと喜び、感謝し当仏教会に礼言を寄せられたのである。ありがとう。合掌。

● 七、八、九、十月と猛暑、真夏日が長く続く異常天候で、部屋の中で熱中症死者も多く出た。師走の現在、寒さを嫌悪する言葉や吐いている。執着心が離れない。困った人間共よ。

● チリのサンホセ鉱山で、八月五日に坑道の崩落事故が発生し、33名の作業員が閉じ込められた。69日後に六三四mの地下から無事救出されたニュースに世界が沸いた。救出の様子は、さすがに現代版クモの糸である。自他に救われようとする菩薩心を持つこととその実践は、いかに難しく尊いものであるかを実感した。痛ましい事件や事故を起こすのも人間の仕業だが、それら乗り越える英知と精神文化も人類の妙味かも知れない。